

堀部政男「『情報法制研究』
創刊号に寄せて」(情報法制
研究1巻4-10頁・2017年)

情報通信法学研究会
2021年9月13日

「情報法」の来し方行く末

浜田純一

拡がり

- 情報法 （宇賀克也・長谷部恭男編）
- 情報法 （新判例ハンドブック/宍戸常寿編著）
- 情報法入門 （石村善治・堀部政男編）
- 情報法入門 （小向太郎）
- レクチャー情報法 （松井修視編）
- 情報法概説 （曾我部真裕・林秀弥・栗田昌裕）
- 情報法 （浜田純一）
- 情報法のリーガルマインド／情報メディア法 （林紘一郎）

- 自治体情報法 （堀部政男）
- 行政法の新構想Ⅱ（行政作用・行政手続・行政情報法）（磯部力・小早川光郎・芝池義一編）

拡がり2

- 法と情報 （石村善治先生古稀記念論集）
- 情報と法 （岩波講座「現代の法」10巻）
- 情報法の構造 （山口いつ子）

- 表現の自由とアーキテクチャ （成原慧）
- 言論法研究 （清水英夫）
- 法とジャーナリズム （山田健太）
- 放送制度概論 （鈴木秀美・山田健太編著）

- 交通法・通信法 （園部敏・植村栄治）

- プライバシー・個人情報保護の新課題 （堀部政男編著）
- 個人情報保護法の現在と未来 （石井夏生利）

フロンティア

法学教室2020年8月号特集

「情報法というフロンティア

－その先には、何があるのか？」

(宍戸常寿「情報法への招待」)

- ◇曾我部真裕「『情報法』の成立可能性」(長谷部恭男ほか編『現代法の動態』1・岩波書店・2014年)
- ◇曾我部真裕・林秀弥・栗田昌裕『情報法概説』(第2版・弘文堂・2019年)

敷 地

- マス・コミュニケーション法(メディア法)
- 言論法(表現の自由)
- 情報公開法/個人情報保護法(情報二法制)
- 通信法
- 著作権法
- インターネット法(サイバー法)

○ 情報の生産・流通・消費(処理)に関する法

隣人

- 著作権法

インターネット法（松井茂記・鈴木秀美・山口いつ子編）

- サイバー法

AIの時代と法（小塚壮一郎）

AIと社会と法（宍戸常寿・大屋雄裕・小塚壮一郎・佐藤一郎編著）

- AIと法

ロボット・AIと法（弥永真生・宍戸常寿編）

- ロボット法

ロボット法（平野晋）

ロボット法（ウゴ・パガロ/新保史生監訳）

柱 梁

- ① 情報それ自体やそれらの流通に係る価値の(社会的・個人的)重要性に着目した法制
- ② 情報の生産・流通・消費を大規模に支える組織ないしシステムに係る法現象
- ③ 情報化、ICT(+AI)のもたらすインパクトをとりわけ考慮した法の取扱いとそのためのシステム

<https://www.guggenheim-bilbao.eus/en/routes/architecture>

自由と制度

曾我部〈情報法の基本理念〉

- ① 自由かつ多様な情報流通の確保
- ② 情報の保護
- ③ ユニバーサル・サービスの実現

- ① '積極的な作為、「思想の自由市場」を越えて
- ② '多様な情報保護のカタチの腑分け/「構造化」
- ③ '「ユニバーサル・サービス」の意味転換/構造転換

⇒ 総合的な視点で情報環境の「制度」設計

(共通/異質 の規制手法/思想)

ナイーブ

○特徴的な規律手法:

＜曾我部

倫理/自主規制・共同規制、アーキテクチャ(コード/ナッジ)

～情報/コミュニケーションの本質と絡むか？

※インターネットの場合は、「越境性・分散性」

- 自由
- 侵害/制約に対する脆弱性
- 管理の困難さと容易さ
- 国境の越えやすさ

自律

- 情報化と人間(像)の変化可能性
 - 情報の横溢 → 理性的判断の困難/逃避
- インターネット/データ収集集積/AI>「自律」へのリスク
 - 監視社会/アーキテクチャ(大屋雄裕)
 - プロファイリング(山本龍彦)
- 情報の視点から行政法の捉え返し>「自律」の担保
 - 行政過程=「情報秩序」=私人及び行政組織が、公益を実現するために、情報を意味として認識し使用する過程(山本隆司)
 - 「情動的行政手法」:「情報の流れをさばく」行政の営み/適切な情報供給(磯部哲)

スピード

- 取組みの先駆性 / 抱え込み
- 政策との距離短縮
- 学際性の際立ち

← 情報関連の技術 / 活用 / 産業等の急速な発展、
社会的影響の大きさ

拡がり
フロンティア
敷地
隣人
柱梁
自由と制度
ナイーブ
自律
スピード